

企画提案書作成のための仕様書

企画提案書及び企画提案作品の作成に当たっては、下表の内容を踏まえてご提案ください。

京都府 YouTube チャンネルに配信する動画の役割

京都府 YouTube チャンネルに配信する動画の主な役割は、以下の3点である。

- ① 府政情報や京都府の魅力をわかりやすく効果的に伝えること
「伝わること」を重視し、わかりやすい動画の配信であること。
- ② 府政や府の魅力に一定関心がある府内に在住の若い世代に訴求できる内容であること。
媒体特性を活かし、特に若い世代（25才～34才）が視聴する内容や配信の工夫がされていること。
- ③ 「京都府が好き」、「京都府に住んでいることに誇りを持って」もらうこと
動画を視聴することでより「京都府が好き」になり、かつ、京都府民は「京都府に住んでいることに誇りを持つ」きっかけを与える内容であること。

<目標値>

チャンネル登録者数：20,000人

チャンネル登録者は、YouTube 内のファンの数。登録者が多ければ多いほど、府公式チャンネルの目的に合うものとなるため数値目標としている。

※チャンネル登録者数を増やすための KPI は選定事業者と協議の上、決定するものとする。

想定される課題

京都府 YouTube チャンネルに関する想定される課題は、以下の3点である。

① どのようにしてアクセスしてもらえるか

YouTube はソーシャルプラットフォームであると同時に、検索エンジンの役割も果たしている。検索エンジンと同様に、視聴者が打ち込んだキーワードに対して該当する動画が上位表示されれば、視聴回数は増加する。視聴者がどのような動画に興味をもってもらうかを分析し、メタデータの充実とともに興味を引くサムネイルの選定など、対象となる人々がアクセスしてもらえるようにどう「仕掛ける」かを考えなければならない。

② どのようにして視聴維持率が高い動画を制作できるか。

どんなに再生数が高くても視聴維持率が低いと YouTube 内のアルゴリズムで「役立っていない」と認識され、評価が低くなる。配信した動画の視聴維持率を向上するための民間企業の先進的な広報を踏まえた**飽きさせない演出・構成**など視聴者にとって興味を引くもの、または有益な情報の発信及び動画の制作に努めること。一方で、伝えるべき情報はきちんと盛り込む必要がある。

③ どのようにして京都府への理解の向上を図るか。

京都府 YouTube チャンネルの充実及び動画の配信する目的は、ただ視聴してもらうだけでなく、視聴者に京都府のファンになってもらうことにある。どのようにして視聴者に京都府の魅力に結びつけることができるか、工夫する必要がある。

1 企画提案書

以下の内容を盛り込む企画提案書を作成、提出すること。

なお、提出形態は紙媒体での資料を6部（正本1部、副本5部）を納品すること。

- (1) 京都府公式 YouTube チャンネルを活用した府政情報発信業務の業務内容について
 - ・チャンネルの目的とターゲットを考慮し、企画提案の全体のコンセプトやポイントがわかる効果的な提案書を作成すること。
- (2) 制作スケジュール
 - ・配信日の5日前（土日祝日は含まない）までに制作を完了させるものとして作成
- (3) スタッフ名簿
 - ・本業務に従事させるスタッフの名簿及びその業務歴

2 企画提案作品

以下の内容を盛り込む企画提案作品を作成、提出すること。

(1) 提出形態

絵コンテ等紙媒体での資料を6部（正本1部、副本5部）で納品すること。

なお、府政発信のための動画制作業務についてはデモ映像を作成し、提出してもよい。より作品の魅力が伝わる方法で提案すること。

<京都府政発信のための動画制作業務に係るデモ映像（1分～2分）の制作について>

- ・府政が伝わるデモ映像を作成。計1つ
- ・京都府公式 YouTube チャンネルでの動画配信を想定した、メタデータ、サムネイル等のデザインも含めて提案すること
- ・企画提案作品の企画意図・構成・デザインの狙いや考え方
- ・情報発信力向上のための工夫やアイデア等の提案
- ・「京都府知事の出演」を想定した動画であること。

(2) 納品形式

絵コンテ等の紙媒体資料の場合は、A4判（図表等についてはA3判をA4判に折りたたむことも可）とし、企画提案書と同様に20ページ以内で6部（正本1部、副本5部）納品すること。デモ映像等の動画の場合は、MP4、WMV等のPCで再生可能な拡張子でCDもしくはDVD等で2枚納品とすること。

3 価格提案書（見積書）

業務を実施するために必要な経費を記載した価格提案書（見積書）とその内訳書

※以下の項目により記載すること

見積書：合計金額【契約期間中の総額(消費税抜き)】

明細1：内訳金額

- ① 京都府職員による府の関連行事についての動画編集費（60本程度）
- ② 動画撮影研修業務
- ③ 府の関連行事についての動画制作業務（10本程度）
- ④ 京都府政発信のための動画制作業務（10本程度）
- ⑤ 京都府地域の魅力発信のために動画制作業務（4本程度）
- ⑥ 京都府公式YouTubeチャンネルの分析及び運用業務
- ⑦ 広告等の出稿・周知業務

⑧ その他経費

明細2：明細1の詳細（必要に応じて添付）

4 注意事項等

- (1) 上記「1 企画提案書」については、1社1提案とする
- (2) 提案作品の制作は、「1 企画提案書」の「(5) スタッフ名簿」に掲載の者が行うこととし、独自に取材等を進めること